



発行日：平成29年04月29日

### 清々しい季節がやってきました

四月は初めての経験や集団生活、気候の変動もあり、体調を崩す子供が見られました。まだまだ朝夕の寒暖の差がみられます。衣服調節ができるように、長袖や半袖の衣服の用意をお願いします。

陽射しが強くなってきました。帽子をかぶりましょう。暑い時に適した帽子は、

- ・日よけが出来る適当な大きさのつばがまわりについているもの
- ・通気性が良く、洗濯ができるもの
- ・光線を反射させる白い色や淡い色
- ・ひものついてるもの(ゴムなど)
- ・大人の指が一本入るゆとりのあるもの



### 歯科健診があります

園医の池田歯科医師による歯科健診が30日(火)にあります。当日は9時15分までに登園をお願いします。保護者の方は、朝食後お子さんの歯の仕上げみがきをお願いします。検診の結果は、後日各園児にプリントでお知らせします。検診の結果、「要治療」と診断された場合は早めに治療しましょう。

当日お休みの場合は、池田歯科医院か、かかりつけの歯科医院での検診をお願いしています。できるだけお休みのないようお願いします

### ハチミツについて

今年三月下旬、都内の生後6ヶ月の男児が、ハチミツによる“乳児ポツリヌス症”で亡くなりました。男児は今年一月から栄養を補うためハチミツを混ぜたジュースを飲んでいて、男児の

便や使用していたハチミツからポツリヌス菌が検出され、死亡の原因が特定されました。ポツリヌス菌は、大人の場合体内に入っても腸内細菌の働きで繁殖は抑制されますが、

才未満だとその働きが弱く、乳児ポツリヌス症を発症しやすいのです。死滅させるには120℃で4分以上加熱させる必要があり、家庭で煮沸する程度では難しいといわれます。

アピタの発達段階に合わせた食事の注意していきましょ



### アトピー性皮膚炎について

アトピー性皮膚炎は継続した治療が必要です。

忍耐強く・・・アトピー性皮膚炎は症状が良くなっても手を抜かず、一時的に悪くなってもがっかりしないで、忍耐強く頑張りましょう

定期的に受診・・・症状が変われば治療も変わってきます。必ず定期的に受診し、医師の診察を受けるようにしましょう

自己流は失敗のもと・・・良くなったので薬を塗るのをやめた、悪くなったので市販の薬を使った、毎日薬を使うのは良くないと思ったので減らした、など自分の判断で治療を変えるのは失敗のもとです。分からない事は必ず主治医に相談するようにしましょう。

治療の基本はスキンケア・・・汗をかいたり、食べ物などが顔についたら、洗い流して処方された薬を塗りましょう。

アトピー性皮膚炎はかゆい→かゆいからまた掻く→掻くと傷がつく→傷がつくとよけいかゆい→また掻く、という悪循環をやめないとますます悪くなるばかりです。

そこで・・・爪は短く切っておく 厚着にしない  
チクチクする衣類は避ける  
寝ているときに温めすぎない  
など、気をつけていきましょう

### 5月の保健行事

- 10日(水)乳児検診
- 12日(金)身体測定
- 16日(火)きちんと手を洗えるかな？  
( さくらぐみ )
- 30日(火)歯科検診

